

令和5年度第2回大船渡市学校支援活動運営委員会

日時 令和5年11月15日(水) 午前10時～午前10時45分
場所 大船渡市役所 教育委員会会議室
出席者 運営委員会委員 4名
高橋多鶴子委員長、紀室浩委員、高橋昭英委員、菅原優子委員
大船渡市
生涯学習課：課長、課長補佐、主事
中央公民館：館長補佐、主任
学校教育課：指導主事

[会議内容]

1 開 会

2 挨拶 高橋委員長

3 協 議

第1号 令和5年度大船渡市地域学校協働本部事業の実施状況について
事務局より、別紙資料のとおり説明し、意見を諮った。

〈意見・質疑応答〉

【英語スクール、家庭教育学級、青少年体験学習事業について】

- ・ (紀室委員) 実施状況を見て、大変魅力的な講座を実施していると感じた。アンケートや感想からも、受講者が進んで学習していたことが分かる。アンケートの評価項目も良い内容だったが、「成果指標」について、「受講者〇人のうち、何%が〇〇について達成できた」と記入した方が見やすく、前年度実績との比較もしやすいのではないかと。
- (中央公民館) 承知した。次回から取り入れる。
- ・ (菅原委員) 家庭教育学級の「総括」について、学校間の日程調整等の影響で実施できなかった学校等への対応は、具体的に考えているのか。
- (中央公民館) 市の方針と学校業務の多忙さを踏まえ、中学校区ごとの実施を見直し、今年度から各小・中学校単位(3年に1回のローテーション)で開催した。新型コロナウイルス感染症の影響で、以前は実施できないという声が多かったが、実施希望が挙がるのは担当者としてありがたい。現時点ではスケジュール通りに実施できている。ただ、予算との兼ね合いや講師の都合もある。実施希望がある場合は、「実施を前提」として進める。
- ・ (菅原委員) 学校等は、来年度の予定を3学期頃に決める。来年度、ローテーションが回ってくる学校等への周知についても対応願う。
講座についてだが、例えばZOOM配信の利用は考えているか。自分が幼稚園に勤めていた際、被災地支援の関係で、ZOOMを利用して本の読み聞かせ等の支援をしていたことがある。それに係る費用や準備は必要だが、会場に行かなくても受講できるため、実施方法の1つだと考える。
- (中央公民館) 前年度、受講者は会場に集まり、講師がZOOMを利用する形の講座を1回実施した。ZOOMを利用した講座には懸念事項があるため、今後検討する。

- ・（菅原委員）先日、英語体験教室に見学に行った。受講した子どもたちがすごく楽しそうで、とても良い講座だった。保護者の感想の中に「他言語の子ども向けイベントがあれば参加してみたい」とある。子どもたちの世界に向ける視野を広げるため、他言語の取組についても検討してみしてほしい。

【スクールガード配置事業、学校支援事業について】

- ・（紀室委員）地域コーディネーター（以下、地域C）交流会について、日頃の「業務内容」、「課題」、「解決策」を抽出できたことは、大きな成果だ。「解決策」の中に、「地域Cに係る研修会に学校側も参加してほしい」との意見があったが、普段の業務に加えて研修会が多くなると、学校側の負担が大きくなると感じる。交流会の内容について、各小・中学校に周知はするのか。1人ひとりの職員が交流会で出た意見を目にするすることで、より良い学校教育に繋がる。
 - （生涯学習課）交流会の内容については報告書としてまとめ、学校に情報提供する。
- ・（紀室委員）図書支援活動地域ボランティアは、市内小・中学校のなかで末崎小学校のみ配置されていないが、各学校からの希望制か。
 - （生涯学習課）希望制である。
- ・（高橋（昭）委員）本校で地域Cは配置されていないが、学校運営協議会委員の協力によって様々な活動を行っている。昨年度から生涯学習課に地域Cの斡旋の相談や、本校から何人かに依頼しているが、見つからない。市内の中学校で地域Cが配置されている東朋中学校においては、赤崎小学校と兼務されていると聞いている。
 - 第一中学校や大船渡中学校は学校区が広いので、人材が多くいるのかと思えばその逆で、見つかりにくい。人数が多い猪川小学校についても同様である。
- ・（高橋委員長）生涯学習課から学校へ、地域Cを推薦することは可能か。
 - （生涯学習課）担当者レベルで考えていたことだが、知人の何人かに依頼する予定である。業務内容についてご理解いただいた上で、地域Cを引き受けていただけるか当たってみる。

4 その他

- ・事務局から、第3回運営委員会の開催を2月に予定している旨、報告。

5 閉会